

皆さん明けましておめでとうございます。

今年は穏やかな天候での年明けとなりました。寒さもさほどではなかったのですが、初詣に行き新年に向けての決意を新たにした人も多かったのではないのでしょうか。

今年は午年ですが、一月五日の新聞に、安倍晋三首相の今年の決意として「障害を力強く乗り越えていく駿馬のように、困難にひるむことなく立ち向かっていく」という言葉が掲載されていました。

「駿馬」とは、『足の速い優れた馬』という意味です。午年にちなんで安倍首相は、「駿馬」のごとく、国内外に山積する様々な困難を乗り越え、力強い日本を取り戻す。との決意を国民に表明したのだと思います。

ところで、年末年始は全国規模の様々なスポーツ競技が行われましたが、中でも最も注目を集めるのが箱根駅伝といわれています。東京・箱根間往復約二〇〇kmを二日間に渡り、一〇名の選手でたすきをつなぐ大学駅伝です。

「その一秒を削り出せ」。これは今年の大会で優勝した東洋大学駅伝チームのスローガンです。私は最初、東洋大学の選手の腕に何か書いてあるなと思っていたのですが、レースが終盤にさしかかる頃、実況中継をしていたアナウンサーが説明をしてくれました。

これは三年前の大会で、僅か二十一秒差で優勝を逃したときに、「一人一秒から二秒縮めることができれば必ず優勝できる。そのためにこれからの一年間の練習をがんばろう」との決意で掲げた目標だそうです。

わずか一秒。されど一秒です。そう簡単にこの一秒が縮まるも

のではありません。この一秒を縮めるために、厳しい練習に打ち勝つことはもちろんですが、一人の成熟した人間に成長することこそが勝利につながるとして、練習や勉学に臨む姿勢、さらには普段の生活を見直すことも大切にしたとのことでした。

アンカーが歓喜のゴールテープを切った後、全員がコースに向かって深々とお辞儀をした光景に、東洋大学の選手一人一人のこれまでの努力を垣間見たような思いがしました。

さて、皆さんの新年に向けての決意は何だったのでしょうか。

私が高校生の頃までは、三世代あるいは四世代同居という家庭も多く、今と違って、一月三日までは商店も開いていませんので、正月は家族や親戚の人と過ごす時間が多かったように思います。祖父母からお年玉をもらいながら、「今年は〇〇を頑張りたい」と目標や決意を言っていたような記憶があります。

時代の流れとともに、正月の風景も大きく変化してきました。しかし、節目節目を大切にする日本人の心を失わないためにも、新たな年を迎えるにあたって、皆さん一人一人に合った目標を立て確かな決意を持つことが大切ではないでしょうか。

「馬には乗ってみよ、人には添って見よ」ということわざがあります。躊躇することなく、なにことも実際経験すること、挑戦する姿勢を保つことが大切であるという意味です。年初に当たり、決意を新たにして、夢実現のためにまず一歩踏み出しましょう。その小さな歩みの積み重ねが皆さんを大きく成長させるのだと思います。

寒さはこれからが本番です。体調管理に十分注意をして充実した学校生活を過ごしてください。以上で私の話を終わります。